

SILVER COLLEGE NEWS シルバーカレッジ 新聞

発行元:シルバーカレッジ
事務局/教育部生涯学習課(美和公民館)

地域の防災

いま何をしたらいい?

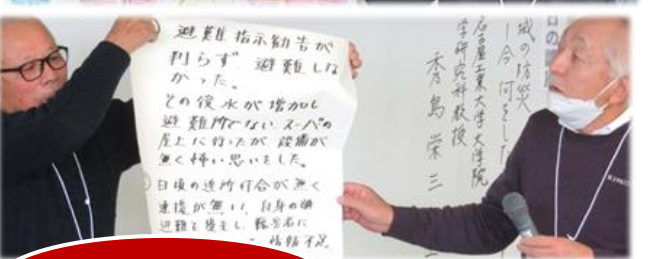


他人事じゃない...

十一月十九日(火)は、名古屋工業大学の秀島栄三教授を講師にお招きし、自然災害に直面したとき自分ができることについて学びました。「被災することを想像してみる」として、「減災」「自助」の立場から自分ができることを考えて、熱心に講義を受けることができました。グループ討議では、東海豪雨のスライドから三つの課題が与えられ、自身の体験談を交えながら発表を行い、非常時のことを自分事として考える授業となりました。



和気あいあい



自助と共助...



- コミュニティの必要性・重要性を改めて感じました。
- 名工大生になったつもりで話を聞いた。災害になると行政が役に立たないから、身近な人たちの助けが一番大切だと思う。
- 災害が叫ばれる昨今、考える機会をいただきました。改めて考えてみようと思います。
- 大変よく理解できた。障害のある方がいる家庭には、どうしても遠慮してしまうので、なんとかコミュニケーションをとりたいと思う。
- 短い時間ながら中身の濃い授業で、とても勉強になった。今後の生活にいかしたいと思った。
- 南海トラフも来るかもしれないので、このような講義はとても役に立つと思います。
- 南海地震が来ても、津波があま市に到達するには1時間かかることを知った。町内会の避難計画を作る必要性を感じた。
- 普段、聞くことができない講義を、すごく興味をもって聞かせていただきました。グループワークも悩みましたが楽しくできました。
- 詳しいレジュメをいただきましてありがとうございました。大変勉強になりました。字や表が小さすぎて、資料をしっかりと理解することはできませんでしたが、先生のご説明で大事な点をまずまずおさえることはできたように思います。今後の対策にいかすことができたと思います。班ごとの話し合いは活発で、和気あいあいと進められていて、まとめ役として大いに助けられました。
- 大学教授のお話はしっかりとまとめられていて、詳しく説明していただけたので、有意義な時間だった。久しぶりに講義が聞いて楽しかった。
- 淡々とお話されて(ユーモアを交えることもなく)、みんな熱心に耳を傾けていた。身近な問題のせいかな...

名工大生になったつもりで学生の声